

# 南城市立佐敷小学校

(様式4-2：令和5年度 モビリティ・マネジメント教育（交通環境学習）にかかわる教員支援制度  
実施結果報告書)

## 実施結果報告書

1. 学習名称：南城市のNバスを利用した歴史史跡巡り（ふるさと学習）					
2. テーマ： (1) 市内を走るNバスを利用して、「市内歴史史跡巡り」を児童目線で創る過程の中で、自分たちの住む地域や南城市の良さについて再認識する。 (2) 地域の歴史等に目を向け、体験をしながら課題を発見し、小学生なりの方法で諸課題の解決のために積極的に関わり調査し実践力を養う。 (3) 自分たちの創ったNバスの利用が、これからの南城市の観光やまちづくりに貢献でき社会に働きかける機会となり、より自分事としてかかわる力を育てる。					
3. 実施教科：総合的な学習の時間、国語、社会科、英語、家庭科					
4. 関連単元：「平和発信地 沖縄！ 佐敷！」（総合） 「町の未来をえがこう/ 町の幸福論ーコミュニティデザインを考えるー」（国語） 「戦争と人々の暮らし」「平和で豊かな暮らしを目指して」 「世界の人々とともに生きる」（社会科） 「共に生きる地域での生活」「持続可能な世界を生きる」（家庭科） 「This is my town.」（外国語）					
5. 実施単元数： 「平和発信地 沖縄！ 佐敷！」（総合）70時間 「町の未来をえがこう/ 町の幸福論ーコミュニティデザインを考えるー」（国語）13時間 「戦争と人々の暮らし」7時間「平和で豊かな暮らしを目指して」8時間 「世界の人々とともに生きる」8時間（社会科） 「共に生きる地域での生活」4時間「持続可能な世界を生きる」4時間（家庭科） 「This is my town.」8時間（外国語）					
6. 学年	6年	7. クラス数	3学級	8. 生徒数	73名
9. 実施内容 総合的な学習の時間を柱に、各教科を横断的な学習として取り組んだ。 平和学習を入り口として、南城市内の平和史跡調べ、身近な平和に関連する史跡等を調べていった。その後、南城市の平和やよさを発信できる場所等にも子ども達の関心が広がっていった。市内に点在する平和史跡や市のよさを発信できる場所等を、Nバス（南城市内のみを運行するバス）を利用して巡るルートを自分たちで考えていく中で、Nバスの利用やその良さ、提案などをしていった。そして、それを観光協会やNバスのセンターの協力を得て、情報発信を市の道の駅「がんじゅう駅」でポスター掲示等、掲示をしてもらった。					

## 10. 学習のながれ：

### 導入

1. 沖縄戦を入口に、南城市の平和を考え調べていく活動を行った。

関連教科：「戦争と人々の暮らし」 7時間

「平和で豊かな暮らしを目指して」 8時間（社会科）

児童は、社会科の時間に学んだ「第2次世界大戦」のことをもとに、沖縄での戦争について調べ、自分たちの住んでいる南城市の戦争について調べていった。

### 展開

2. 平和学習として、沖縄戦を入口に考えたことを広げる活動に移っていく。平和を身近な平和（身の回りの平和）を広げていくことを学び、そこから戦争の史跡だけでなく、もっと平和をアピールするもの、南城市外の人に知ってほしいもの、観光客に見て欲しいものなど、どんなものがあるかを調べたり調査したりする活動を行う。

関連教科：「世界の人々とともに生きる」 8時間（社会科）

「共に生きる地域での生活」 4時間

3. 調べていくうちに、実査に見てみたいとの声から、近くは歩いていけるけれども距離のある地域の史跡等はどうするのか。そこで、自動車やバスの利点について寺本先生（東京成徳大学）を招聘して、授業をしていただいた。

余談であるが、授業実践後は校内研修として職員へ「授業の取り組みの説明」と「交通モビリティの考え」等、講話をしていただいた。

### 発展

4. 調べる活動をしていく中で、実際にその史跡等への見学や聞き取り調査をおこなっていった。



【Nバスの活用と利用した際のまとめ】

実際にNバスを利用して史跡や道の駅、市役所など人が集まる場所へ行き、聞き取り活動を行った。

5. Nバスの活用について、Nバスを利用した史跡巡りやこれからのNバス、Nバスと市の観光協会へのアプローチなど、様々な視点から子ども達の学びが広がっていった。



【寺本先生の授業の様子】



【Nバスを利用して調査活動した後の良さや発見の様子】



【観光客・外国人や地元の方への聞き取りの様子】



【Nバスの良さや提案】

### まとめ及び発信

児童が調べたことをポスターやプレゼンテーションを作成し、観光協会の方々やNバス関係者への提案を行った。

聞き取り調査において、外国の方々も多くいることから、英語の学びを生かし英語での南城市アピール・Nバスアピールのポスターを作成し、南城市の道の駅「がんじゅう駅」で1ヶ月間掲示をしていただいた。

ある学級では、Nバスで聞き取り調査をしている中で、海岸の汚れに関心が向かい海岸清掃から始め、そのゴミや拾った物を利用してアート作品にし、募金活動を行い、その収益金については能登半島地震への募金をおこなった。



【募金活動の様子】

関連教科：「町の未来をえがこう/町の幸福論ーコミュニティデザインを考えるー」

(国語) 13時間

「持続可能な世界を生きる」4時間 (家庭科)

「This is my town.」8時間 (外国語)

※学習で使用した教材やワークシート、学習風景を撮影したビデオや写真、指導計画書などを添付して提出してください。